

全体指導

—継続的な体育授業研究へ—

香川大学教育学部

米村 耕平

研究発表から

- 郡市提案

- 工夫された教材・学習資料（ICT）

- 子どもに実態に応じた学習過程の工夫

→明らかにされた成果と課題についての追
試・検証の拡大を

→学年段階を見据えたカリキュラム開発へ

研究発表から

- 授業づくり研修会

○単元を見通した学習過程

○小学校の学年段階を見通した学習過程

→ネット型ゲーム教材、ベースボール型
ゲーム教材、走跳-走り高跳び教材、走跳-
ハードル走教材の計画的な追試・検証を

求められる体育の学習課題の工夫

• できてわかる学習課題の設定（知識・技能）

→できるだけでも、わかるだけでも達成できない課題の設定

Ex) なぜ倒立前転ができたのでしょうか？

Ex) なぜ前の試合より多く得点できたのでしょうか？

※技能差によらない課題設定となる

求められる体育の学習資料の工夫

・主体的で対話的学習を支える資料（思考力・判断力・表現力）

→思考するための情報提供、判断するための視点の提供（運動パフォーマンス改善のための見方・考え方）、仲間に伝える方法の提供

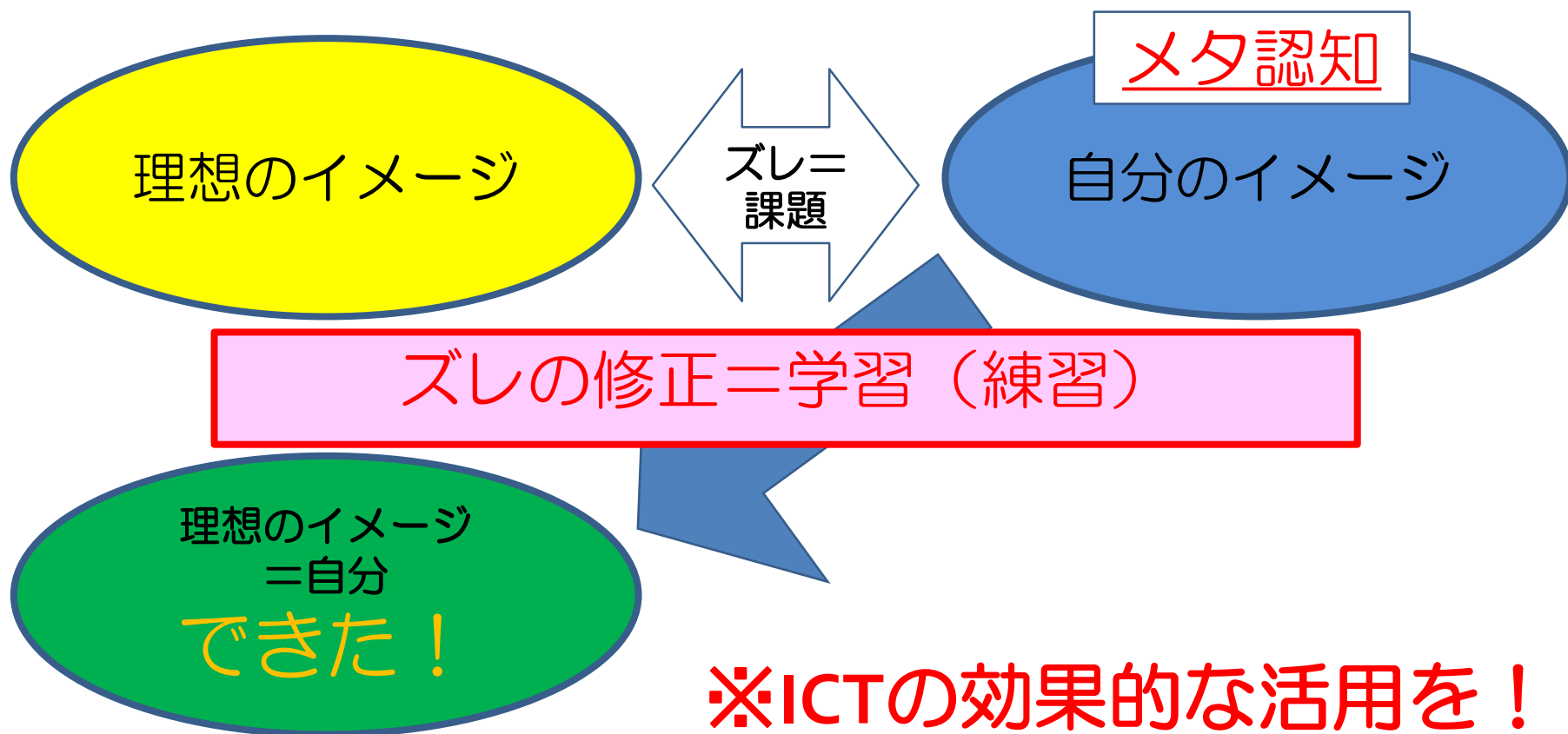
Ex) 自分（自チーム）の課題を把握するためのメタ情報（理想イメージと自分の試技の比較、理想のゲームデータと自チームのゲームデータ比較）

Ex) 自分（自チーム）の課題解決方法に選択（判断）する情報（練習の場の設定、練習方法についての資料）

メタ情報の重要性

〇できるようになるということ

- 理想のイメージと自分の現在のイメージを一致させるということ



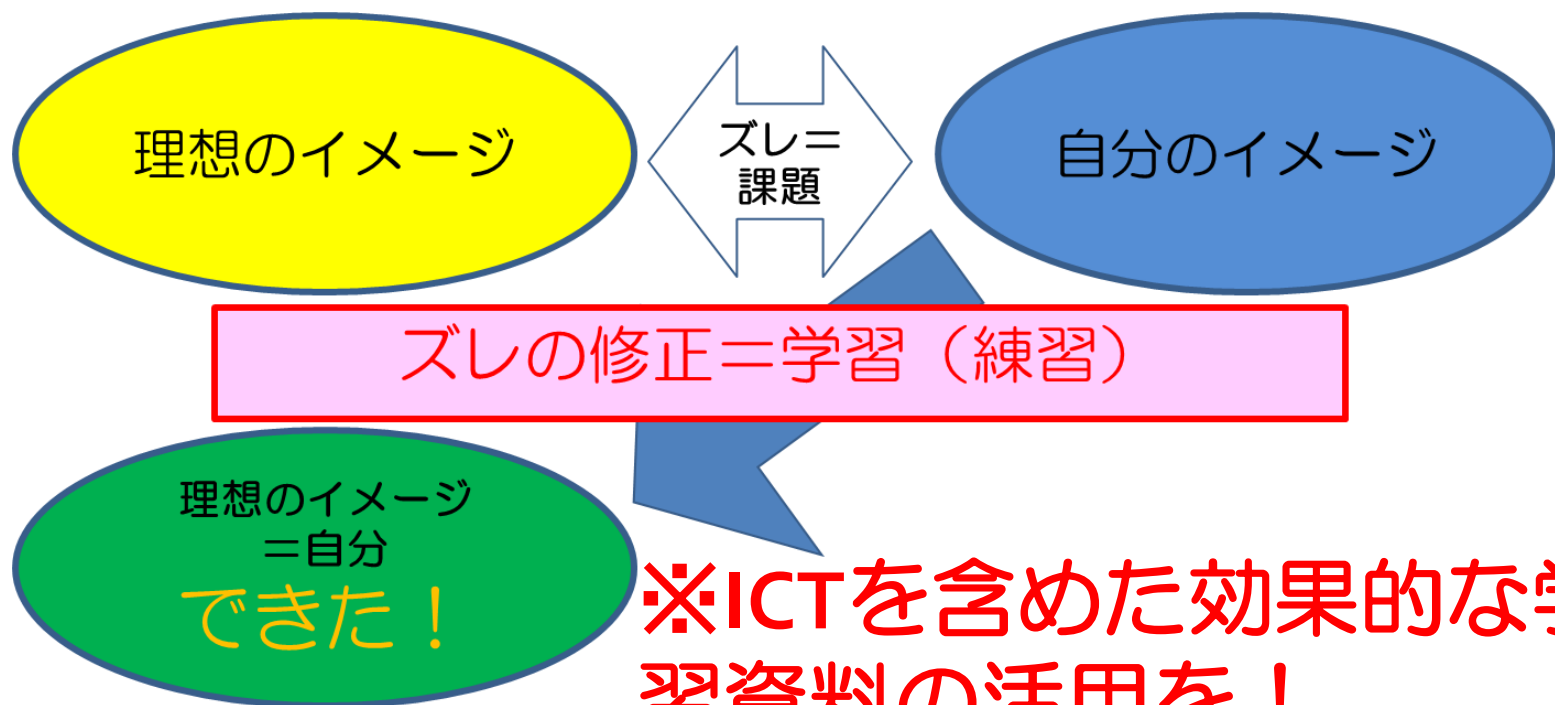
※ICTの効果的な活用を!

メタ情報の重要性

○わかるようになるということ

- 理想のイメージと自分の現在のイメージを一致させるための方法を理解すること

→ズレの把握、ズレの原因の把握、修正方法の選択



※ICTを含めた効果的な学習資料の活用を！

県内の小学校への普及を

- 夏季研で示された授業実践提案を校内研で

→小体連体育部会の研究成果を共有化

- 「私たちの体育」をベースとした授業実践を

→「私たちの体育」は体育を専門としない先生の教科書であり、その活用方法を検討したい＝
ミニマムとしての通常体育授業の在り方

→「私たちの体育」の授業実践から体育授業の
「深み」へと誘う＝体育授業マニア拡大作戦